

未来の大河原を考える



7月26日世代交流いきいきプラザを会場に、10年後の大河原町に実現してほしいまちづくりの作戦を考える「中学生未来会議～U-15・ずっと住みたいまち大河原をみつめて～（主催：大河原町）」が開催されました。現在本町で平成31年度から10年間のまちづくりの計画「長期総合計画」を立てる作業を行っており、そのなかで若い世代の意見として、中学生が考える「ずっと住みたい大河原」を探るべくこの会議が開催されました。

今回参加したのは、大河原中学校16名、金ヶ瀬中学校9名の代表生徒25名で、3つのグループに分かれて、中学生の視点から「ずっと住みたいまちって、どんなまち？」の意見をたくさん集めて、将来に向けて「住みたいまちにする作戦」を考えました。

「大河原ってどんなまち？」

生徒は、予め配布されていた「まちづくりキーワード」などの資料を基に、大河原町のイメージを付箋に書き出す作業から始めました。初めの1枚がなかなか書けずにはいましたが、グループに同席していたファシリテーター（進行支援者）にアドバイスを受けると、次々と自分たちのイメージを付箋に書き上げました。



書き出した付箋は、グループごとに模造紙に長所と短所に区分して貼り出し、そのなかからグループ内で共感者が多い意見を5つ選び出しました。その5つの意見に対し、長所であれば伸ばす案を、短所であれば改善案を一人ひとりが考えました。

「住みたいまちにする作戦」

各グループごとに、5つの意見からさらに3つを選び、10年後の大河原町に実現してほしい作戦をまとめ、グループごとに発表しました（次ページ）。発表した内容は、副町長をはじめとした審査員3名で点数がつけられました。

Aグループ（大河原中学校）

〔評価27点中20点〕

○人を呼び込め！

人を呼び込むために、次の3つを提案します。

①ゴミの分別をきちんと守り、みんなできれいなまちを心がける。

②商店街などの空き店舗を有効活用する。

③子どもも高齢者も住みやすいまちにする。

この3つの条件をクリアできれば、みんなが住みたくなるまちになるのではないかと。

○健康なまちへようこそ

町の医療費助成などの医療支援内容をもつと他の地域の人にPRし、大河原町に住んでもらう。また、大人たちだけが定期検診を受けるのではなく、子どもたちも定期検診を受け、病気の早期発見で健康なまちを目指す。

○イベントの開催

大河原町出身の芸能人を招いて、春夏秋冬1年を通してお祭り（既存の祭り含む）を開催。桜スポットや田んぼアートなどインスタグラム映えるスポットをつくり、町のPR動画などを作成し、人を呼び、まちを活性化させる。



Bグループ（大河原中学校）

〔評価27点中23点〕

○大河原町活発作戦！

まちを活発にするために、①自分たちで定期的に空き家を掃除し、勉強するスペースとして利用する。

②商店街のシャッターにアーティストや中学校の美術部員がにぎやかな絵や文字を描く。

③桜の木をライトアップして、冬も桜祭りを開催する。これらを行うことで町が活発になるのではないかと。

○バイクなどの騒音対策

警察と協力して町全体をパトロールしたり、注意を呼びかけるポスターを作成し、目に止まる場所へ掲示する。

○学力向上作戦

学校にクーラーを取り付けてもらえるよう先生や町へ働きかける。生徒たちが奉仕活動をしたり、吹奏楽部が演奏をして資金集めをし、クーラー設置費用の一部を補い、財政負担を軽減する。クーラーがあることにより、涼しいところで勉強ができ、学力向上へとつながる。



Cグループ（金ヶ瀬中学校）

〔評価27点中20点〕

○目指せ「ゼロ」のまち！

ゴミのまちを目指すために、ポスターを作り呼びかけたり、地域ごとにボランティア活動を増やす。また、公園にゴミ箱を設置する。効果が見られないときは、条例をつくり、取り締まる。これらを実行することで、ゴミが減り、桜などの自然が際立ち、10年後みんなが住みたくなるようなまちになるのではないかと。

○土地を有効活用して商業活性化

空き家をリフォームして借家や店舗にする。店舗には、カフェと本屋を合わせたものや、人気のお店が入ることで、人口増につながるのではないかと。また、広報やSNSに載せたり、地域振興券を作ることで、さらに商業活性化へつなげる。

○桜で元気！桜で笑顔！

桜募金などを募って、桜を植樹体験できるイベントをつくったり、春の花見の季節だけではなく、冬も桜の木をライトアップし、1年を通して観光名所となるような工夫をする。



以上が3つのグループから発表された作戦の内容になります。最高得点を取ったのはBグループの案でしたが、どれも中学生らしい、たくさんの意見が交わされ、自分たちの住む町について一生懸命考えた素晴らしい作戦でした。今回の中学生未来会議は、みんなで話し合うことの大切さなども共有できた、笑顔があふれる有意義な会議となりました。中学生の皆さんお疲れさまでした。

